学校番号	１０１２

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	絵画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

油絵は大昔から使われています。油絵の具の難しさやじっくり取り組むなかで様々なことを感じながら、描く面白さを味わってほしいと思います。
・画材、用具の使用法を理解し、基礎的な用具を用いた表現力を養います。
・題材の中の美しさを発見し、存在感ある表現を工夫しましょう。
・対象のよさや美しさを感じ取りまた経験したことや想像したことを表現しましょう。

2　学習の到達目標

内面のイメージをドローイングし、集積から自分の表現したい主題を描いて探る。
日本画の体験を通じ、絵画作品は材料が変わることで全く異なった表現方法になることを知り、自らの表現の幅を広げる。様々な描画材、手法を通して絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・油絵の具の特性を理解し、オイルやキャンバスなど用具や材料を使いこなす。 ・デッサンを中心に、ものの形をしっかりと見て描く力を身につける。 ・名画が他の作家に与える影響や、作家の制作動機などを理解する。	・感性を働かせ、モチーフの良さや美しさ、自己の内面やイメージの世界を見つめ主題を生成する。 ・体験を通じて多様な表現方法を学び、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。	・絵画の多様な表現方法に関心を持ち、自己の考えやイメージ、内面の世界を表現し、美術の面白さを味わう。 ・魅力的と感じたモチーフを描くことに関心を持つ。 ・作者の意図や心情、表現の工夫を鑑賞や合評会を通じて理解し、良さを味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	静物画Ｆ８号	レンガ、果物、ビン、布などのモチーフを組み合わせてデッサン キャンバスに油絵の具	a:絵の具の特性を理解し、色の重なりや乾燥の速度などを理解したうえで表現を深める。 b: 感性を働かせ、モチーフの良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。 c:油絵の作品に興味を持つ。 モチーフの美しさや特徴をしっかり見て描くことに関心を持つ油絵の作品の鑑賞を行い美術作品の良さを感じる。	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート
2	日本画制作	野菜をモチーフに描く デッサン 転写 墨入れ 着彩	a:絵の具の特性を理解し、色の重なりや乾燥の速度などを理解したうえで表現を深める。 b: 感性を働かせ、モチーフの良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしながら創造的に絵を描く。 c:日本画の作品に興味を持つ。 モチーフの美しさや特徴をしっかり見て描くことに関心を持つ日本画の作品の鑑賞を行い美術作品の良さを感じる。	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート
3	人物画Ｆ6号	有名な人物画の模写を行う	a: 写し取る技能や色を再現する技術の獲得を目指す。 b:色の表現を探る、形をしっかりと見る。 c:作品を意欲的に探す。 美術作品の美しさや良さを感じ取る。	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	エスキース ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作の様子 ワークシート 発言内容 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度